

スーパーマーケット販売統計調査

10月実績速報版・9月実績確報版(パネル306)

- 速報版(パネル306)について ※2013年4月実績よりパネル企業変更
毎月「同一企業306社(パネル)」を対象として集計します。
- 確報版(パネル306)について ※2013年4月実績より集計定義を変更
前月に集計した速報版(パネル306)について、より精度の高い集計を行い、
改めて確報版として公表します。

【集計項目】

- 商品分類別売上高:全店売上高(万円)・構成比(%)・全店・既存店前年同月比(%)
 - エリア別集計:全店売上高(万円)・全店・既存店前年同月比(%)
 - 保有店舗別集計:全店売上高(万円)・全店・既存店前年同月比(%)
 - 集計企業数、総店舗数、総売場面積
 - 既存店総売上高(万円)、店舗平均月商、売場1㎡あたり売上高
- ※前年同月比(全店):前年同月営業の全店舗と当月営業の全店舗における比較
※前年同月比(既存店):前年同月と当月共に営業の店舗における比較

スーパーマーケット販売統計調査における商品分類

総売上高	食品合計	生鮮3部門	青果	野菜類、果実類、花	
			水産	魚介類、塩干物	
			畜産	食肉類、肉加工品	
		惣菜		惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インスタベーカーリー、ファーストフード	
		日配		豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム	
	一般食品		調味料、瓶缶詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類		
	非食品		日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具		
その他		テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)			

スーパーマーケット販売統計調査におけるエリア分類

北海道・東北エリア	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
首都圏エリア	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨
東海エリア	岐阜、静岡、愛知、三重
北信越エリア	福井、石川、富山、長野、新潟
関西エリア	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国・四国エリア	鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
九州・沖縄エリア	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

2013年11月21日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp

2013年11月21日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2013年10月実績 速報版 (パネル306)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	78,459,922	100.0%	103.3%	100.4%
食品合計	68,807,020	87.7%	104.0%	100.9%
生鮮3部門合計	26,033,237	33.2%	106.6%	103.3%
青果	10,838,042	13.8%	108.9%	105.5%
水産	6,940,484	8.8%	103.7%	100.4%
畜産	8,254,711	10.5%	106.3%	103.0%
惣菜	7,115,515	9.1%	104.2%	100.6%
日配	15,253,531	19.4%	104.0%	100.9%
一般食品	20,404,738	26.0%	100.6%	98.1%
非食品	5,690,977	7.3%	97.1%	95.7%
その他	3,961,925	5.0%	97.8%	98.2%

エリア別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北エリア	12,528,513	50	103.2%	100.5%
首都圏エリア	29,881,662	89	106.2%	101.1%
北信越エリア	5,113,440	28	102.7%	101.2%
東海エリア	4,113,067	33	100.5%	100.3%
関西エリア	16,596,994	38	101.1%	98.9%
中国・四国エリア	5,940,038	39	101.8%	100.3%
九州・沖縄エリア	4,286,208	29	102.7%	101.3%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	982,943	65	98.5%	99.6%
4~10店舗	4,292,556	87	99.4%	99.1%
11~25店舗	11,217,566	74	101.2%	99.9%
26~50店舗	14,290,794	41	102.1%	100.4%
51店舗以上	47,676,064	39	104.7%	100.6%
集計企業数 (社)	306	既存店総売上高 (万円)	75,606,791	
総店舗数 (店舗)	7,268	店舗平均月商 (万円)	10,795	
総売場面積 (㎡)	11,574,248	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.8	

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2013年11月21日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2013年9月実績 確報版 (パネル306)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	77,333,403	100.0%	102.2%	99.9%
食品合計	67,988,026	87.9%	102.9%	100.2%
生鮮3部門合計	25,434,213	32.9%	106.0%	103.1%
青果	10,832,997	14.0%	108.3%	105.3%
水産	6,711,253	8.7%	103.0%	100.4%
畜産	7,889,963	10.2%	105.5%	102.7%
惣菜	7,196,224	9.3%	102.9%	100.1%
日配	15,037,938	19.4%	101.6%	98.9%
一般食品	20,319,652	26.3%	100.2%	97.6%
非食品	5,633,478	7.3%	98.7%	97.4%
その他	3,711,898	4.8%	99.2%	99.3%

エリア別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北エリア	12,286,008	50	102.0%	99.3%
首都圏エリア	29,504,748	89	103.9%	100.5%
北信越エリア	5,134,007	28	102.6%	100.4%
東海エリア	4,053,747	33	99.5%	99.6%
関西エリア	16,309,228	38	100.9%	99.3%
中国・四国エリア	5,923,708	39	100.9%	99.9%
九州・沖縄エリア	4,121,956	29	100.8%	100.1%

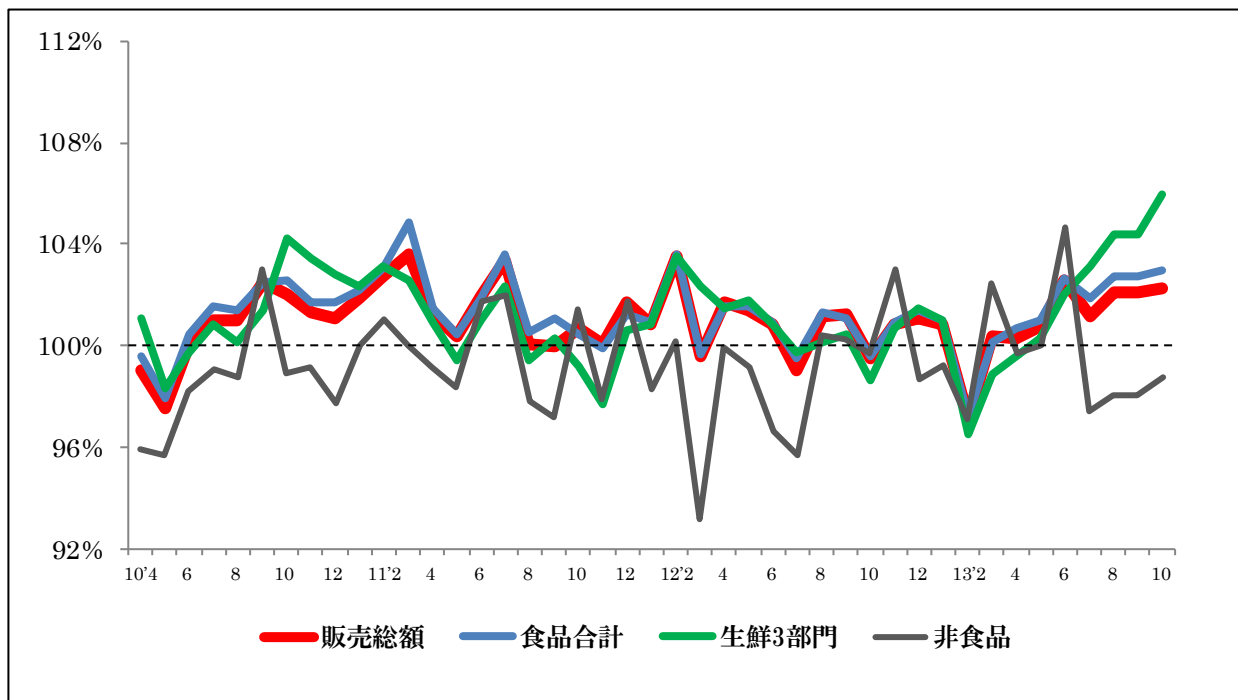
保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	966,971	65	98.1%	98.2%
4~10店舗	4,130,559	86	99.4%	100.0%
11~25店舗	11,179,828	75	100.7%	99.6%
26~50店舗	14,094,924	41	101.8%	99.9%
51店舗以上	46,961,121	39	103.0%	100.0%

集計企業数 (社)	306	既存店総売上高 (万円)	74,449,842
総店舗数 (店舗)	7,253	店舗平均月商 (万円)	10,662
総売場面積 (㎡)	11,570,395	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.7

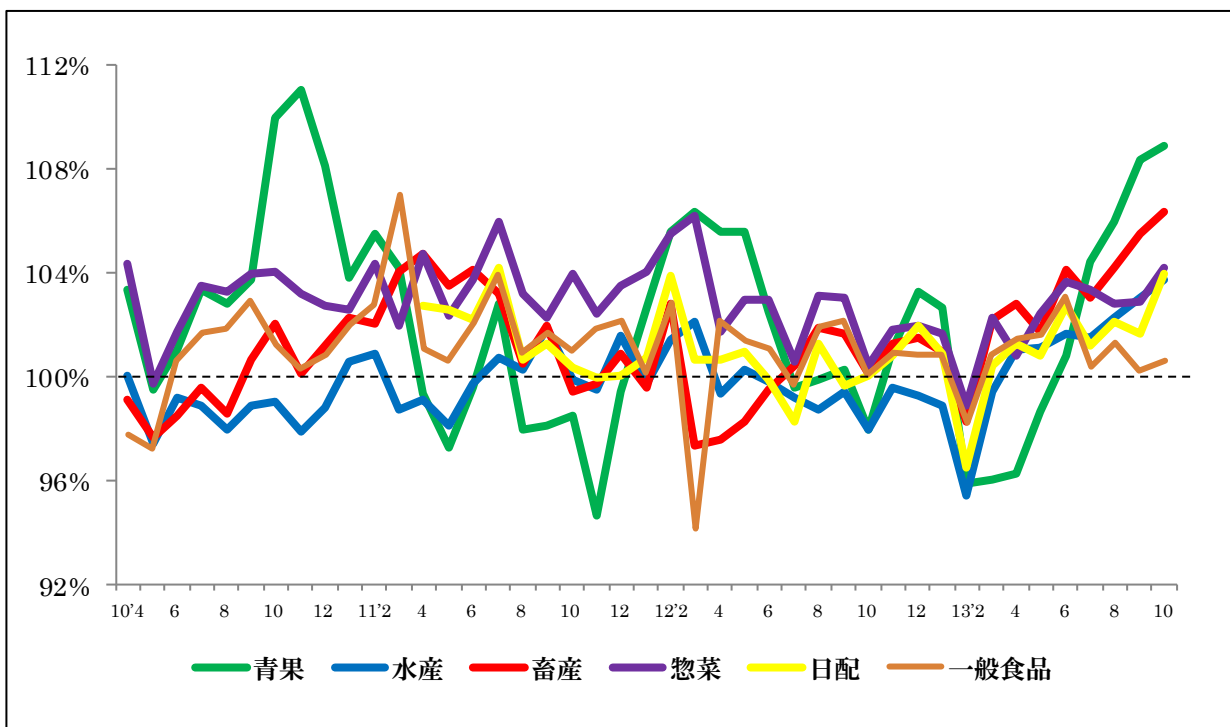
※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2013年10月(全店ベース対前年同月比)
販売総額・食品合計・生鮮3部門・非食品



※2010年4月～2013年9月までは確報版による前年同月比、2013年10月は速報版による前年同月比
※2011年3月までは、「非食品」に「その他」を含む

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2013年10月(全店ベース対前年同月比)
青果・水産・畜産・惣菜・日配・一般食品



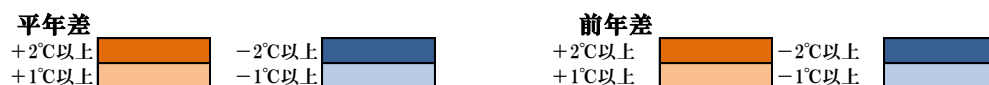
※2010年4月～2013年9月までは確報版による前年同月比、2013年10月は速報版による前年同月比
※2011年3月までは、「一般食品」に「日配」を含む

エリア別10月気候状況(平均気温・日照時間・降水量)

①平均気温

2013年10月(平年との比較) 上旬は全国的に平年よりかなり気温が高く、下旬は東日本を中心にやや高くなった
前年同月(2012年10月)と比較 上旬は全国的に前年よりかなり気温が高く、中・下旬はほぼ平年並みとなった

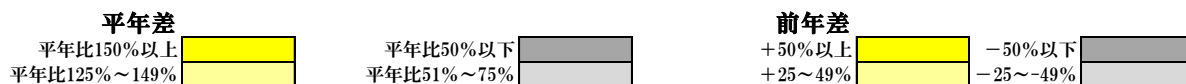
	平年との比較(°C)						今年と前年との差(°C)		
	2013年10月(今年)			2012年10月(前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	2.2	-0.3	1.0	1.9	1.1	0.7	0.3	-1.4	0.3
東北地方	3.2	0.1	1.5	1.7	0.5	1.2	1.5	-0.4	0.3
関東甲信地方	3.5	1.0	1.0	1.9	0.1	0.5	1.6	0.9	0.5
北陸地方	3.8	0.5	1.4	1.7	0.2	0.9	2.1	0.3	0.5
東海地方	3.7	1.1	1.3	1.9	0.2	0.3	1.8	0.9	1.0
近畿地方	3.8	0.7	1.2	0.9	0.0	0.4	2.9	0.7	0.8
中国地方	3.5	0.7	1.1	0.5	-0.1	0.8	3.0	0.8	0.3
四国地方	3.2	0.3	0.7	0.5	-0.1	0.3	2.7	0.4	0.4
九州北部	3.2	0.4	0.7	-0.3	-0.4	0.2	3.5	0.8	0.5
九州南部・奄美地方	2.8	0.3	0.6	-0.5	-0.2	-0.1	3.3	0.5	0.7



②日照時間

2013年10月(平年との比較) 下旬東日本でやや短い地域があったほかは、ほぼ平年並みの日照時間になった
前年同月(2012年10月)と比較 全国的に前年に比べやや短い日照時間の地域が多かった

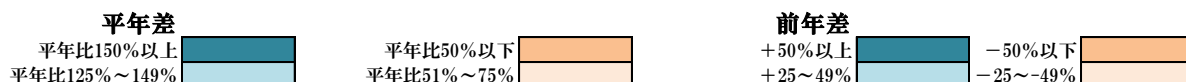
	日照時間 平年比(%)						今年と前年との差(%)		
	2013年10月(今年)			2012年10月(前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	93	83	82	105	87	81	-12	-4	1
東北地方	70	91	58	97	127	100	-27	-36	-42
関東甲信地方	87	102	66	130	131	111	-43	-29	-45
北陸地方	121	85	65	114	126	105	7	-41	-40
東海地方	99	93	69	151	108	126	-52	-15	-57
近畿地方	108	84	67	129	106	120	-21	-22	-53
中国地方	85	86	81	120	108	111	-35	-22	-30
四国地方	101	82	98	142	102	108	-41	-20	-10
九州北部	80	95	99	134	114	94	-54	-19	5
九州南部・奄美地方	92	87	111	149	87	115	-57	0	-4



③降水量

2013年10月(平年との比較) 上旬は東日本で少なく、中旬以降は全国的にかなり多い降水量になった
前年同月(2012年10月)と比較 前年に比べ、全国的にかなり多い降水量となった地域が多かった

	降水量 平年比(%)						今年と前年との差(%)		
	2013年10月(今年)			2012年10月(前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	68	232	185	103	153	151	-35	79	34
東北地方	58	449	172	74	87	118	-16	362	54
関東甲信地方	38	509	205	46	123	96	-8	386	109
北陸地方	25	247	216	72	126	147	-47	121	69
東海地方	30	448	210	6	130	127	24	318	83
近畿地方	44	242	344	16	150	167	28	92	177
中国地方	80	149	559	24	138	113	56	11	446
四国地方	172	135	677	13	144	102	159	-9	575
九州北部	150	132	562	2	110	179	148	22	383
九州南部・奄美地方	220	39	231	2	143	32	218	-104	199



気象庁ホームページより引用
 平年値は過去30年(1981年~2010年)の平均
 スーパーマーケット統計事務局作成

スーパーマーケット景気動向調査

11月調査結果(10月実績)

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因について補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

調査項目①

スーパーマーケット中核店舗における「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」について、前年同月及び前月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で調査

経営動向調査 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

調査項目②

「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」の各カテゴリーについて、当月における好調カテゴリーと不調カテゴリーとその要因を調査

【景況感調査】

調査項目

「景気状況」、「消費者購買意欲」、「周辺の競合状況」、「周辺地域の景気」について、2~3か月前と比較した現状及び今後2~3か月の見通しを「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査

景況感 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0.0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

2013年11月21日

日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ
tokei@super.or.jp

I. 調査結果概況

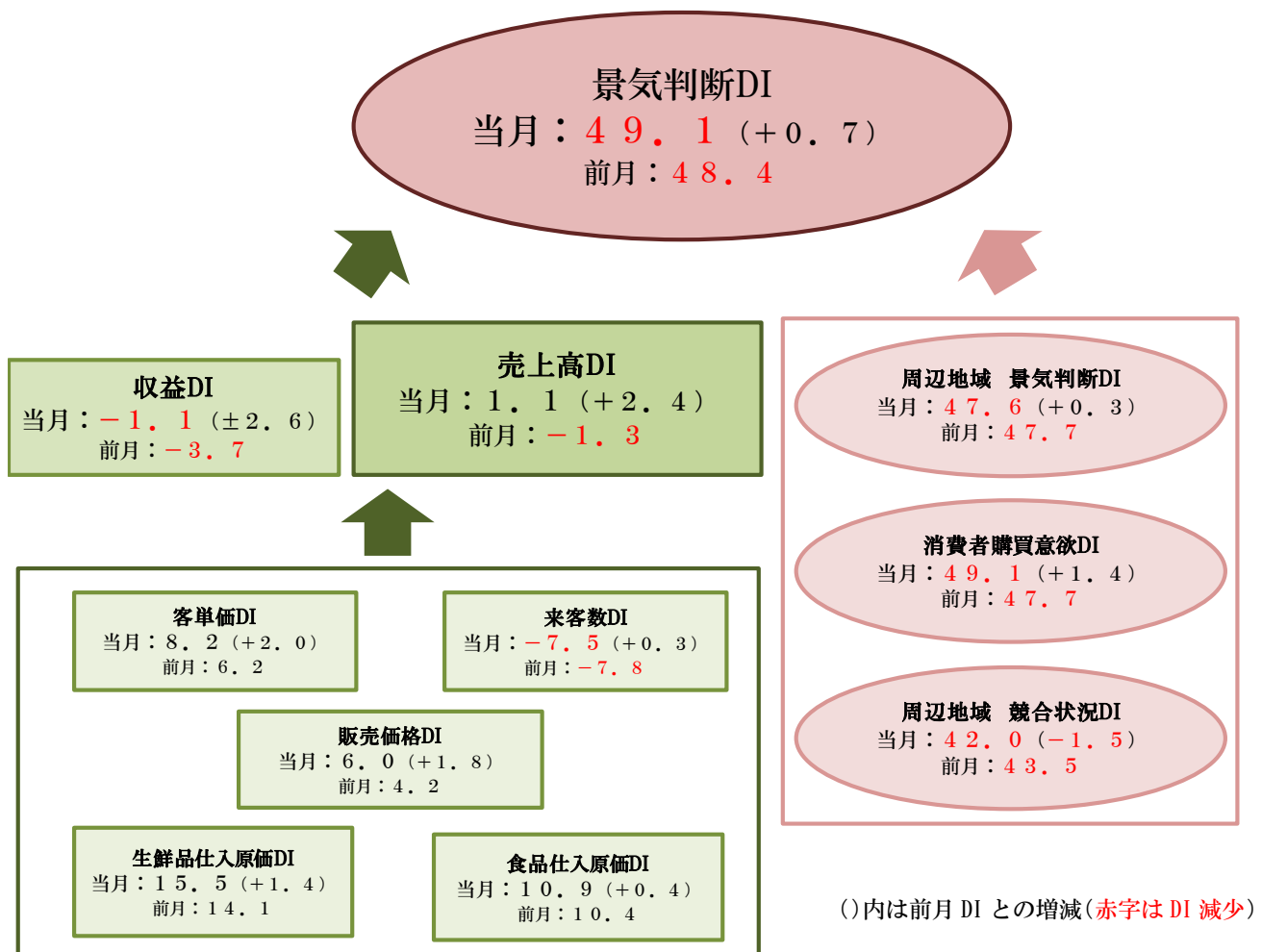
景気判断 DI（現状判断）は小幅に上昇し最高値を更新、仕入原価高止まりも客単価が上昇

10月スーパーマーケット中核店舗における景気判断 49.1 と小幅に上昇し 2010年4月の調査開始以降最高値を記録した。

経営動向調査によると売上高 DI が 1.1 とはじめてプラスを示し、収益 DI も -1.1 と改善をみせている。生鮮品仕入原価 DI、食品仕入原価 DI とともに依然として高い水準となっているが、販売価格 DI や客単価 DI は原価 DI の上昇幅を上回っていることが売上高 DI の上昇に貢献したと考えられる。

景況感調査は景気判断や消費者購買意欲が小幅ながら上昇し最高値を記録する一方で、周辺地域景気は横ばい、競合状況には改善の兆しはみられない。特に景気判断において、現状判断と見通し判断の DI のかい離が拡大しており、先行き見通しについてはやや不安な点もみられる。

2013年10月 スーパーマーケット中核店舗における景況感・経営動向



2013年10月キーワード TOP 3

1. 青果相場高
2. 天候要因(上旬気温高、台風の影響)
3. 他業態との競合

スーパーマーケット経営動向調査

当月：10月速報版集計 247社
前月：9月確報版集計 251社

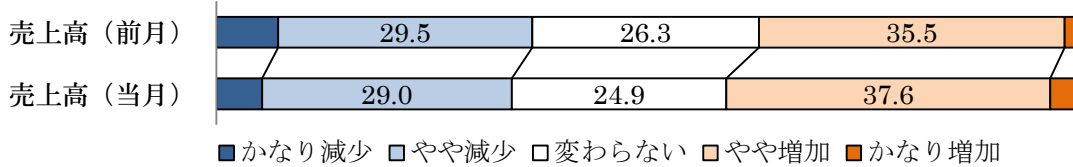
II. 調査結果詳細

1. 経営動向調査（前年同月との比較）

①売上高 DI

「かなり減少」が小幅に減少し、「かなり増加」が小幅に増加（DIは上昇）

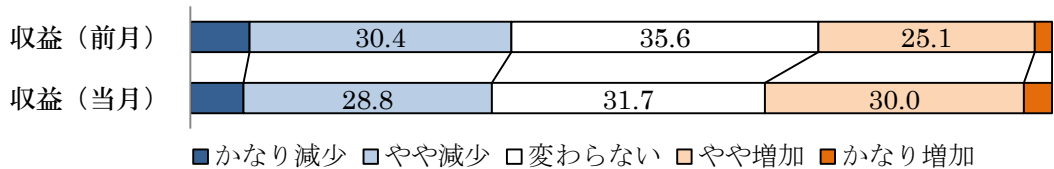
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	7.2	29.5	26.3	35.5	1.6	-1.3
売上高（当月）	5.3	29.0	24.9	37.6	3.3	1.1



②収益 DI

「変わらない」が小幅に減少し、「やや増加」が増加（DIは上昇）

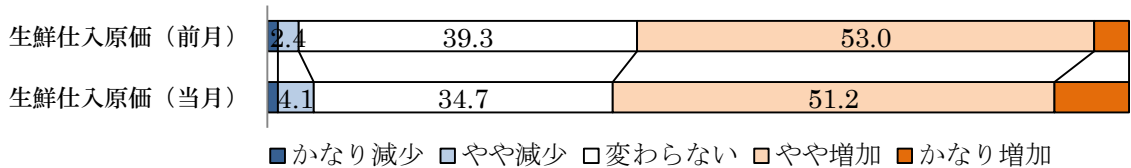
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	6.9	30.4	35.6	25.1	2.0	-3.7
収益（当月）	6.2	28.8	31.7	30.0	3.3	-1.1



③生鮮仕入原価 DI

「変わらない」が小幅に減少し、「かなり増加」が小幅に増加（DIは小幅に上昇）

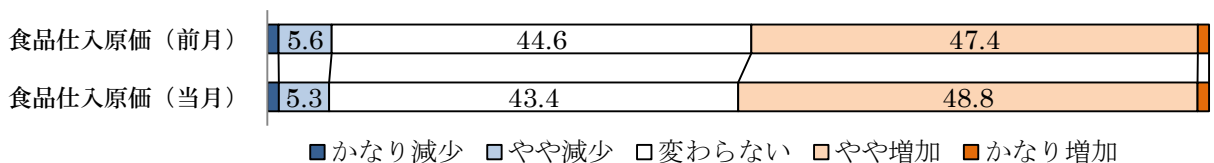
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価（前月）	1.2	2.4	39.3	53.0	4.0	14.1
生鮮仕入原価（当月）	1.2	4.1	34.7	51.2	8.7	15.5



④食品仕入原価 DI

回答構成比に変化なし（DIは大きな変化なし）

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価（前月）	1.2	5.6	44.6	47.4	1.2	10.4
食品仕入原価（当月）	1.2	5.3	43.4	48.8	1.2	10.9



⑤販売価格 DI

「やや増加」が増加 (DI は上昇)

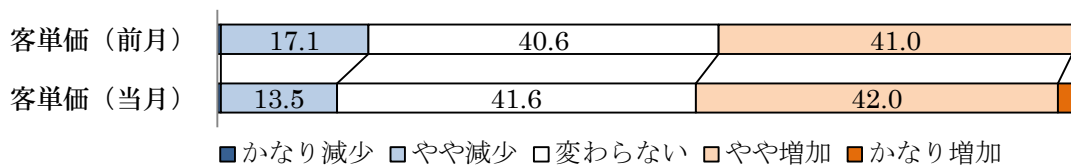
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	1.2	10.8	58.6	29.1	0.4	4.2
販売価格 (当月)	0.4	10.3	54.7	34.2	0.4	6.0



⑥客単価 DI

「やや減少」が小幅に減少 (DI は上昇)

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	0.4	17.1	40.6	41.0	0.8	6.2
客単価 (当月)	0.4	13.5	41.6	42.0	2.4	8.2



⑦来客数 DI

回答構成比に変化なし (DI は大きな変化なし)

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	5.6	41.6	31.6	20.8	0.4	-7.8
来客数 (当月)	5.4	42.6	29.3	22.3	0.4	-7.5



2. 景況感調査（現状判断：2～3カ月前との比較）

①景気判断 DI

回答構成比に変化なし（DI に大きな変化なし）

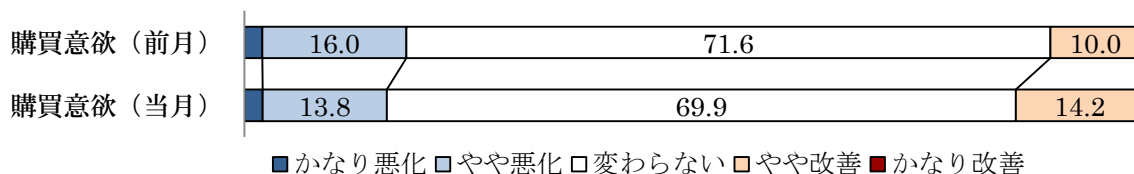
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
景気判断（前月）	1.2	17.7	67.5	13.7	0.0	48.4
景気判断（当月）	1.2	16.7	67.1	14.6	0.4	49.1



②消費者購買意欲 DI

やや悪化が小幅に減少し、やや改善が小幅に増加（DI に大きな変化なし）

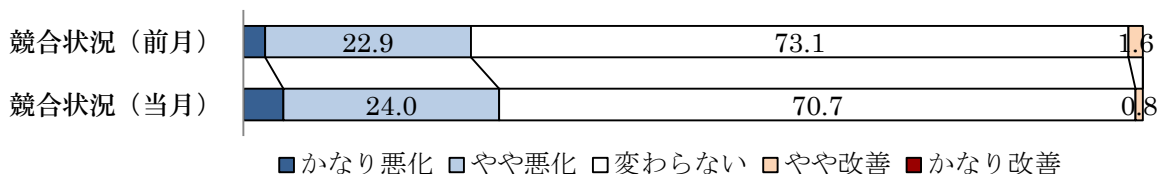
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
購買意欲（前月）	2.0	16.0	71.6	10.0	0.4	47.7
購買意欲（当月）	2.0	13.8	69.9	14.2	0.0	49.1



③周辺競合状況 DI

回答構成比に変化なし（DI に大きな変化なし）

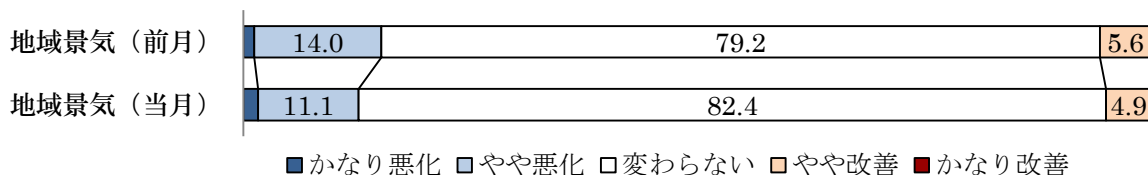
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
競合状況（前月）	2.4	22.9	73.1	1.6	0.0	43.5
競合状況（当月）	4.5	24.0	70.7	0.8	0.0	42.0



④周辺地域景気状況 DI

回答構成比に変化なし（DI に大きな変化なし）

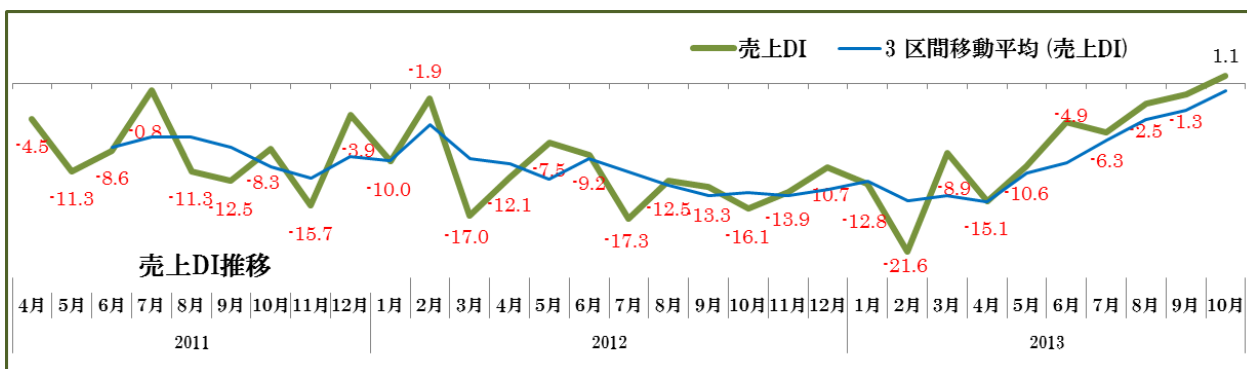
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
地域景気（前月）	1.2	14.0	79.2	5.6	0.0	47.3
地域景気（当月）	1.6	11.1	82.4	4.9	0.0	47.6



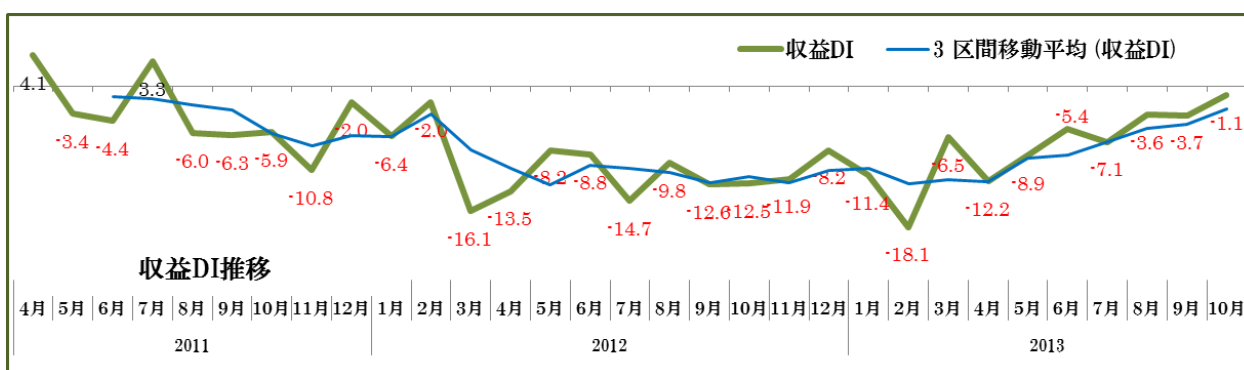
II. 調査結果推移 (2011年4月～)

1. スーパーマーケット経営動向調査

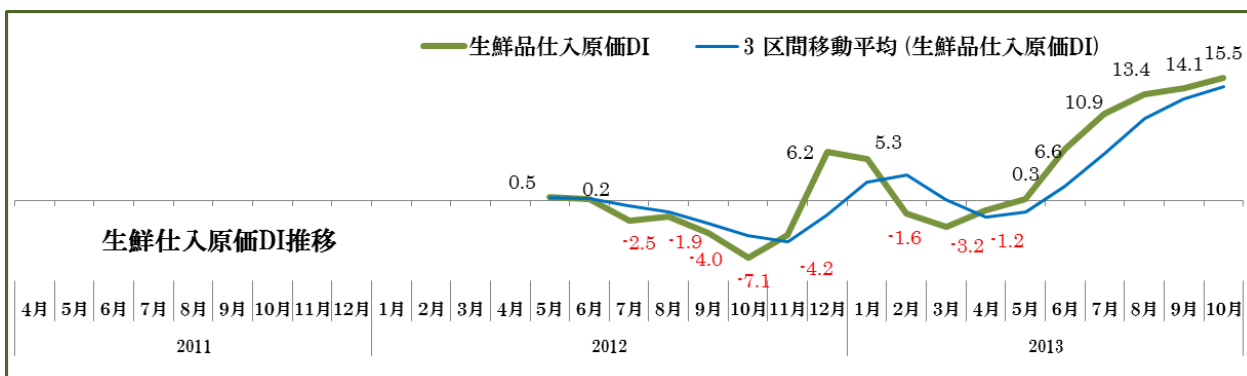
①売上高DI 改善傾向が続き、DIはプラスの値を示す



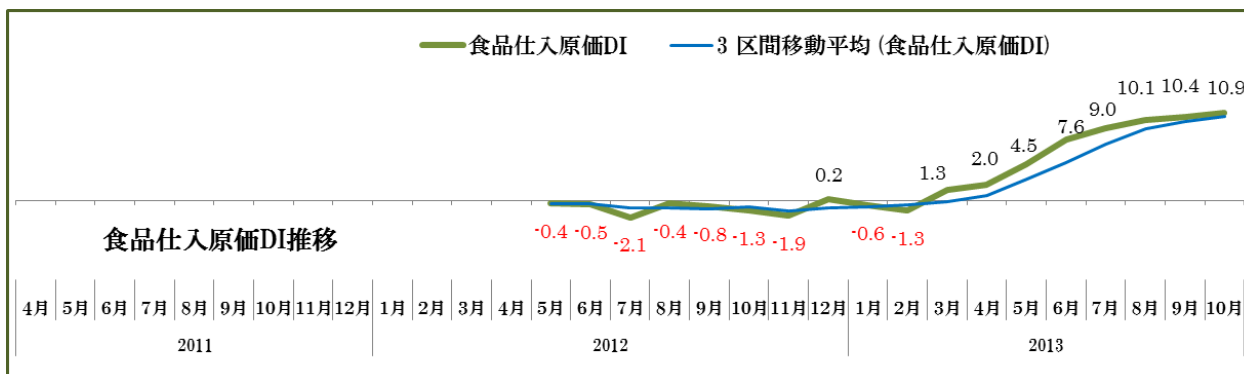
②収益DI ゆるやかな改善傾向が続く



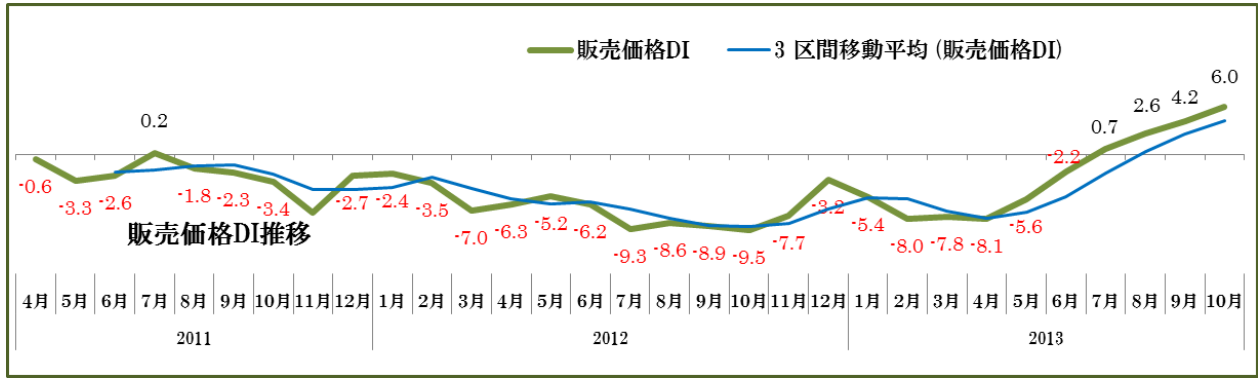
③生鮮仕入原価DI 急激な上昇傾向は一服も高止まり傾向



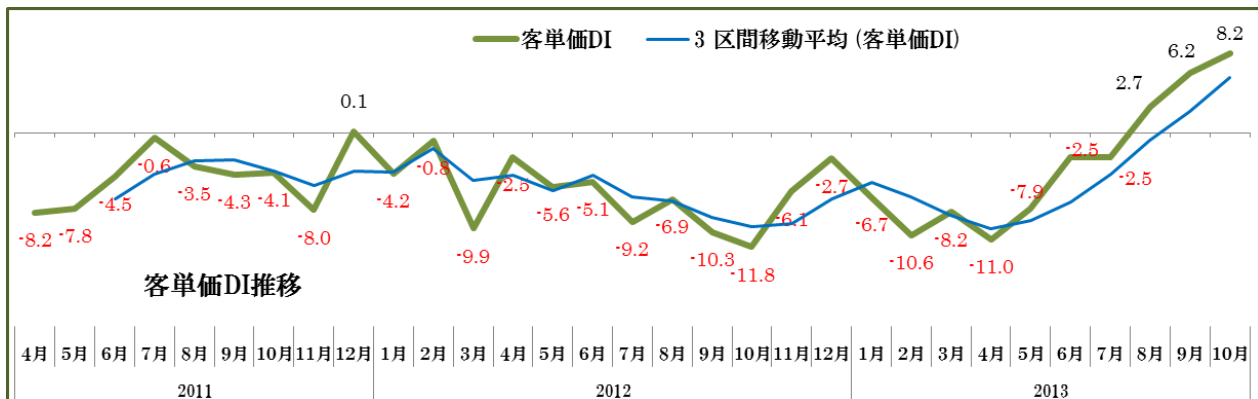
④食品仕入原価DI 急激な上昇傾向は一服も高止まり傾向



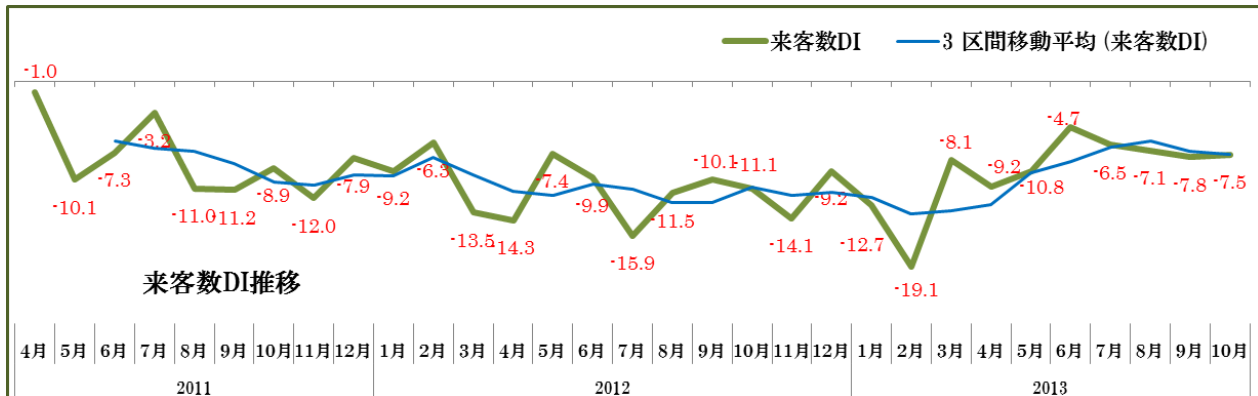
⑤販売価格 DI 4月以降上昇傾向が続く



⑥客単価 DI 4月以降上昇傾向が続く



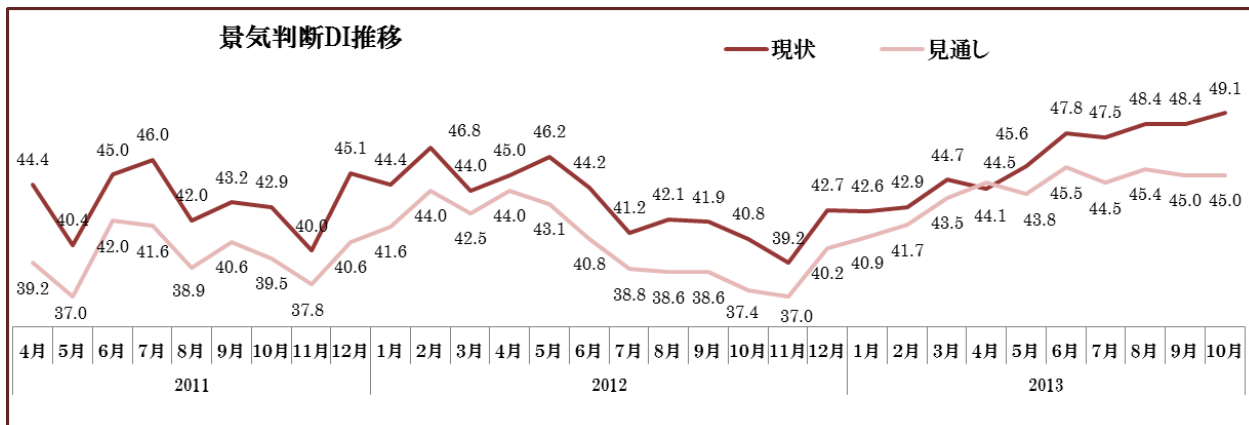
⑦来客数 DI 横ばい傾向



2. スーパーマーケット景況感調査

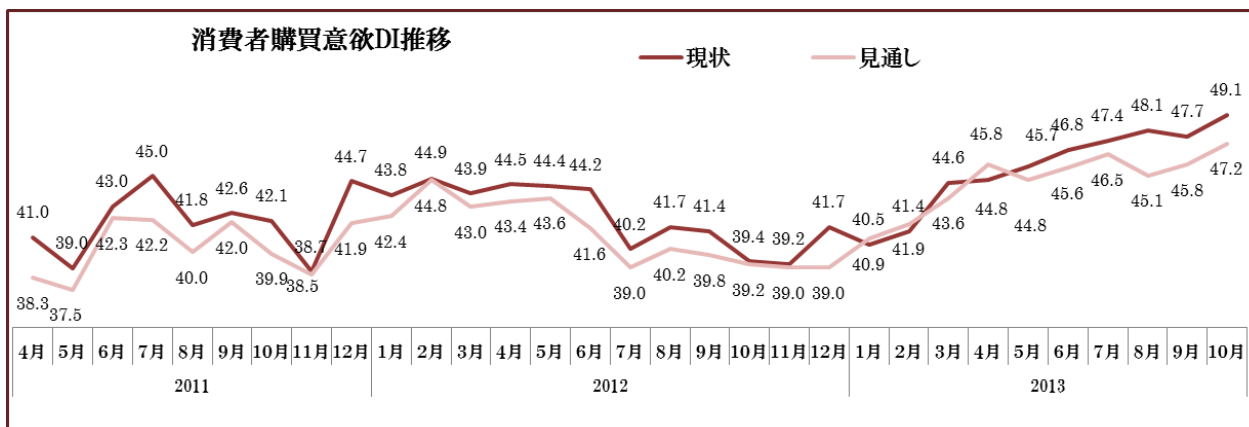
①景気状況 DI（現状判断・見通し）

現状判断はやや上昇し高水準を維持、見通し判断は横ばいで、現状と見通しの乖離は拡大



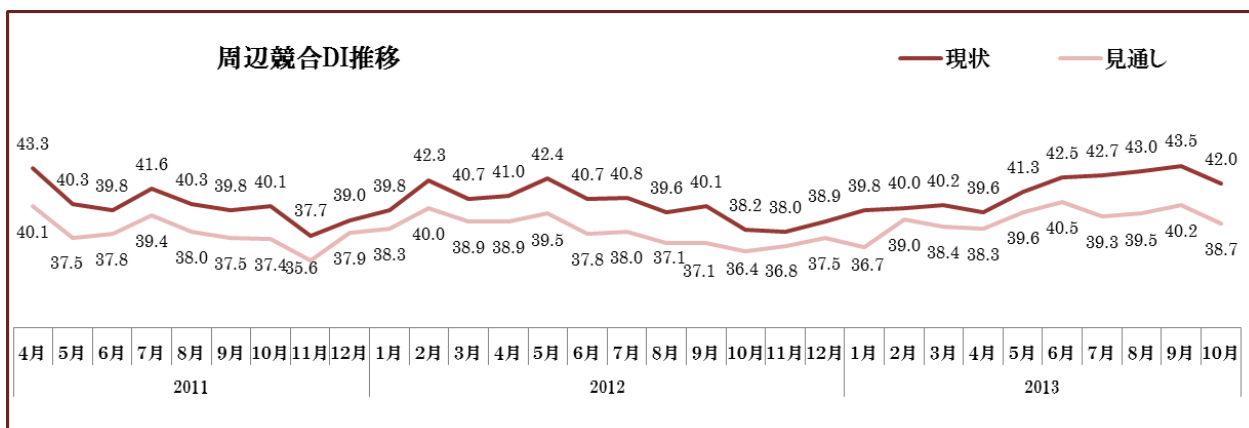
②消費者購買意欲 DI（現状判断・見通し）

現状判断、見通し判断ともに上昇



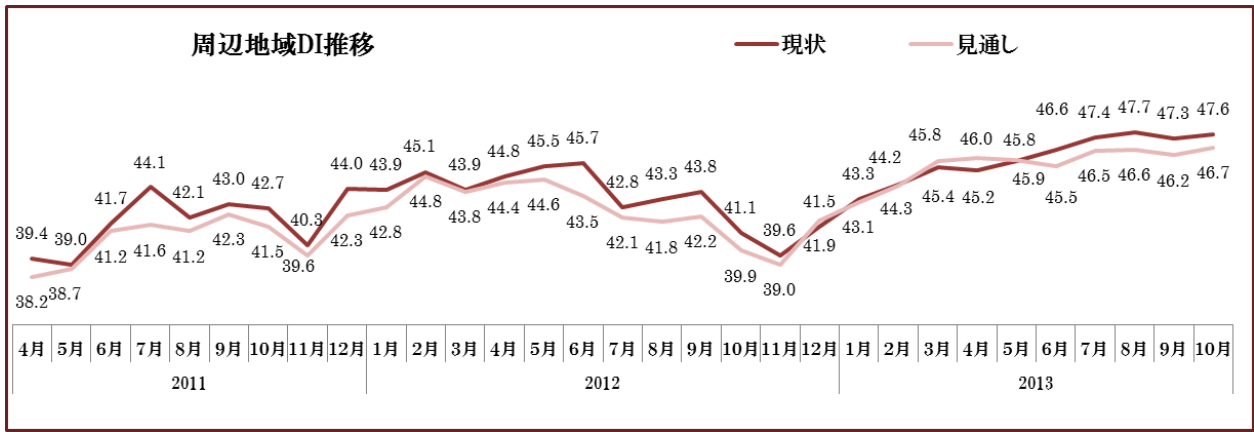
③周辺競合状況 DI（現状判断・見通し）

現状判断、見通し判断共に下落



④周辺地域景気DI（現状判断・見通し）

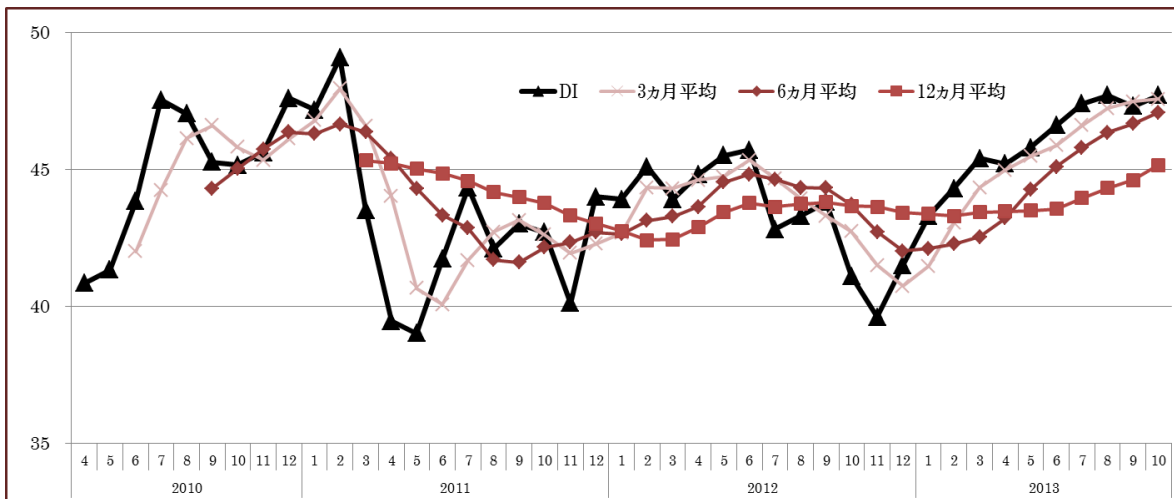
現状判断、見通し判断共にやや改善も横ばい傾向



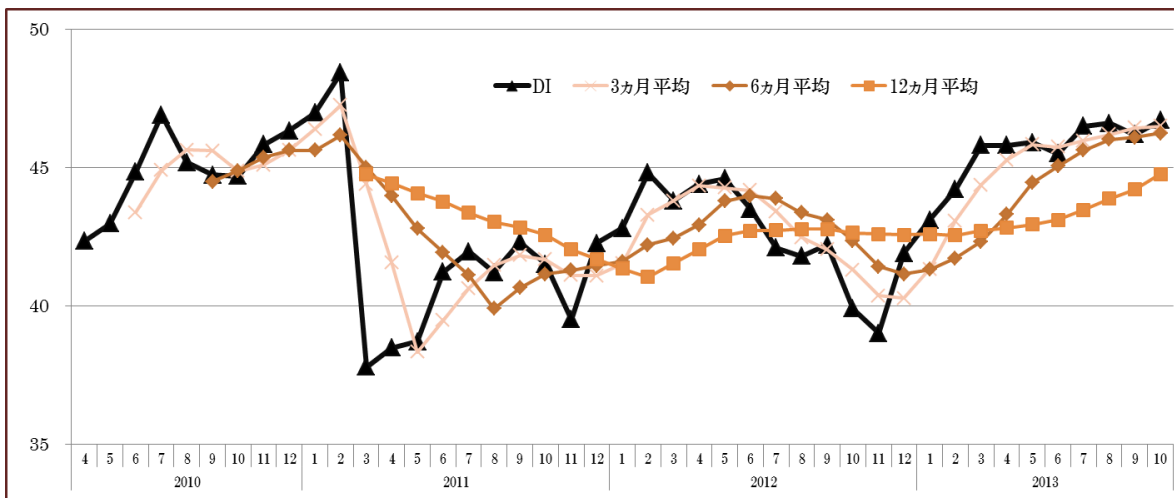
※移動平均（周辺地域景気DI 現状・見通し判断）

単月DIは小幅に改善し、依然として高い水準を維持している。各移動平均線は引き続き上向きである。単月と3ヵ月線が接しており、上昇の勢いに陰りも見られる。現状判断に比べ、見通し判断に横ばい傾向が強くなっている。

①現状判断（中長期傾向）



②見通し判断（中長期傾向）



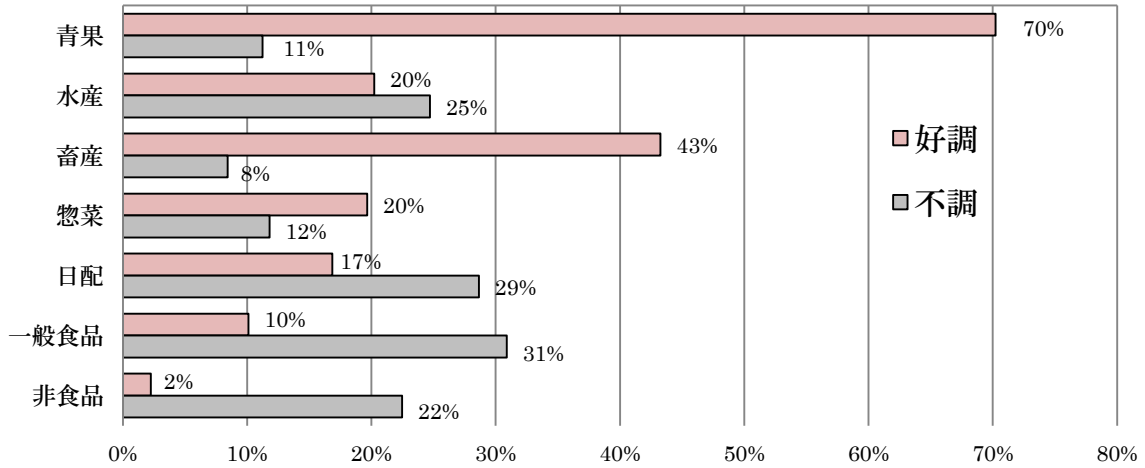
III. カテゴリー別動向

①好調カテゴリー・不調カテゴリー

好調回答割合上位カテゴリー：①「青果」②「畜産」

不調回答割合上位カテゴリー：①「一般食品」②「日配」③「水産」

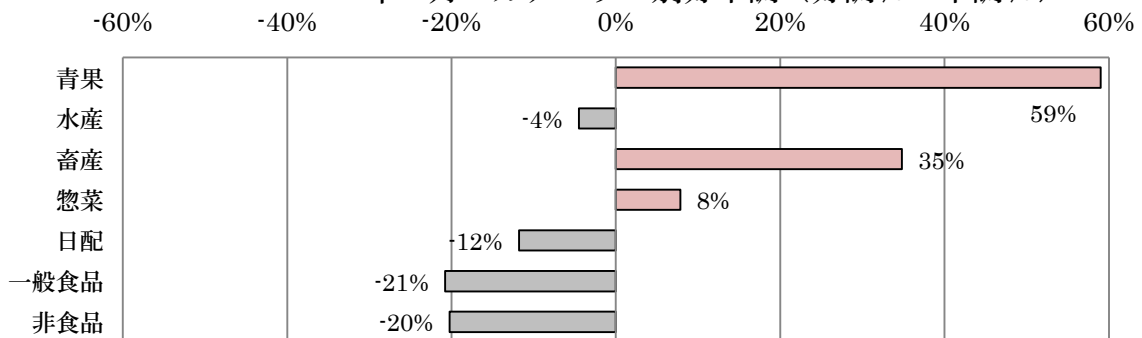
2013年10月 カテゴリー別好不調 (回答割合%)



好調% > 不調%：①「青果」②「畜産」③「惣菜」

好調% < 不調%：①「一般食品」②「非食品」②「日配」

2013年10月 カテゴリー別好不調 (好調% - 不調%)



※N=178

②カテゴリー別主な好調・不調コメント

	好調コメント	不調コメント
青果	野菜相場高、(果物)	相場高による買い上げ点数低下
水産	(鮮度訴求)、(原価上昇)	さんま不漁、不漁、原価上昇
畜産	牛肉、豚肉、鶏肉(鍋需要、原価上昇)	競合、原価上昇の影響
惣菜	(季節品)、出来立てなど取り組み強化	
日配	洋日配、アイスクリーム(気温上昇)	和日配、冷凍食品、競合による価格競争
一般食品	菓子	米相場安、飲料、酒、競合による価格競争
非食品		競合による

() は少数コメント